

子どもが主役!

# 未来をつくる 学びのチカラ

高宮中学校



市内の小中学校で行われている“学び”を紹介します



キャンプファイヤーを囲むフォークダンスには卒業生も参加し、世代を超えて交流。

## 全国でも珍しい! 夜空の下の運動会

1989年から続く、秋のナイター運動会。稲刈りで忙しい保護者や地域の方々にも参加してもらいたいと、夕方から夜にかけて開催しています。恒例の打ち上げ花火は地元や企業からの募金によるもので、地域に支えられながら受け継がれています。運動会づくりは生徒が主役。まずは生徒会を中心にテーマを決定。次に3年生が応援合戦の内容を考えて夏休みに猛練習し、1、2年生のリーダーへと引き継ぎます。1、2年生のリーダーは引き継がれた内容を各学年に伝え、3学年が一体となって練習に取り組みます。運動会後には「先輩・後輩の“ここがすてき”」を書き、お互いの良さを言葉にして伝えます。相手を認め合う経験を通して、自分自身の価値にも気付いていく。こうした経験が、生徒一人一人の心の成長につながっています。



昨年は「完全燃焼～すべて楽しみ～」をテーマに開催。今年9月5日(土)に開催予定。



生徒会長  
塚本 乙羽さん  
(3年生)

生徒が主体となって運動会をつくることに魅力を感じ、自分もその中心となり学校を引っ張っていきたくと思っています。昨年は学年リーダーとしてダンスなどを教える中で、一人一人に合った関わり方や、互いを尊重する大切さを学びました。その経験を生かし、みんなに「やって良かった」と思ってもらえる運動会をつくっていきたくです。

問 学校教育課 ☎お太助フォン 42-5628

今月の

# 市長コラム



## 使い継がれる机・椅子 ～モンゴルの子どもたちへ～

こんにちは。市長の藤本悦志です。

本市では、2023年度から2025年度にかけて市内小学校の児童用机・椅子を新JIS規格のものへ更新しました。これに伴い、長年にわたり本市の子どもの学びを支えてきた旧JIS規格の机・椅子は学校での役目を終えています。

これらの机・椅子は、これまで地元振興会への譲与やリユース市での販売などを通じて、できる限り有効に活用してきました。

このたび、残っていた机・椅子がモンゴルの学校へ渡り、子どもたちの学習机・椅子として使われることとなります。

譲与先は、「一般財団法人国づくり人づくり財団」です。そこからモンゴルの「新モンゴル日馬富士学園」へ寄贈されます。

4月27日(月)には、新モンゴル日馬富士学園理

事長であり、第70代横綱の日馬富士公平さんが本市を訪問されました。市役所でお迎えした後、実際に机・椅子を保管している旧来原小学校にもご案内しました。これまで子どもたちが使ってきた机・椅子が、遠く離れたモンゴルの子どもの学びを支えることとなります。役目を終えた備品に、もう一度新たな役割が生まれることは大変意義深いことだと感じています。

今回の取り組みは、単なる物品の譲与に留まるものではありません。物を大切に使う心、次の誰かにつないでいく考え方、そして国を越えた交流のきっかけにもなるものです。

安芸高田市の学校で使われてきた机・椅子が、モンゴルの子どもの未来を支える一助となることを願っています。

## 健康いいカラダ

### 6月は食育月間

## “噛むことの大切さ” 合言葉は「ひみこのはがーぜ」

“噛むこと”は、食べる楽しさと健康のためにかかせません。噛むことの大切さをわかりやすく伝える合言葉「ひみこのはがーぜ」を覚えて、食育を楽しく学んでみましょう。

ひみこの  
はがーぜ



### ひ 肥満の防止

良くかむと満腹感が得られ、食べ過ぎや高血糖を防ぐことができます。

### み 味覚の発達

食べ物の味がよく分かり、薄味でもおいしく食べられます。

### こ 言葉の発達

口周りの筋肉と顎が発達し、はっきり発音でき表情も豊かになります。

### の 脳の発達

脳への血流が良くなり、認知症の予防になります。

### は 歯の病気予防

唾液がたくさん出て、虫歯や歯周病の予防になります。

### が がんの予防

唾液の酵素の働きにより、発がん作用を抑制します。

### い 胃腸の働き促進

胃腸の働きが良くなり、栄養素の吸収が良くなります。

### ぜ 全身の体力向上

顎が発達することで全身のバランスが良くなります。

問 健康推進課 健康推進係 ☎お太助フォン 42-5633

## 地域おこし協力隊

# 新しい隊員が着任しました!

ミッション

### 空き家から始める まち未来デザイン

空き家を民泊施設として再生し、地域の方々と連携しながら伝統や暮らしの魅力を発信。市内外から人が集い、交流が生まれる拠点をつくります。その拠点で安芸高田市ならではの体験メニューを提供し、感動を届けることで、安芸高田市の関係人口の創出につなげます。

広島市から移住しました。母の実家が北広島町にあり、幼い頃から隣の安芸高田市の自然や文化に親しんできたことから、田舎暮らしに憧れを抱くようになりました。また、海外での滞在をきっかけに、日本の知られざる魅力を発信したいと考えるようになりました。移住を考える方への情報発信と地域とのつながりを大切に、多様な交流を生み出すことで、地域の活性化に貢献したいです。



よねだ しゅうへい  
米田 周平さん

問 政策企画課 まちづくり推進係 ☎お太助フォン 42-5612